

地域産木材を用いた仮設住宅（南三陸町）

1 建築概要 東日本大震災で被災された方向けの応急仮設住宅が平成23年7月完成しました。



連棟遠景（住宅3棟と集会場）



各戸外観・ポーチ（外壁厚板仕上げ）



内観（構造材表し仕上げ）



床（スギ無垢材フローリング）

2 地域産木材による応急仮設住宅建設のコンセプト

- ① 地域の技術（南三陸町建設職組合，登米町大工組合）
- ② 地域の知恵（県内設計事務所，登米町森林組合）
- ③ 地域の木材（南三陸，登米産杉材使用，1戸あたり平均使用木材量12m³）

3 その他（建設の経緯）

震災後直ちに登米町森林組合と県東部地方振興事務所登米地域事務所で構想を検討し、関係先との折衝の末、産直型仮設住宅が完成しました。地元木材が憩いの空間となりますよう祈念します。

【参考】

発注：南三陸町 施工：株式会社山大，宮城県森林組合連合会 ほか
所在地：南三陸町歌津管ノ浜 ・敷地面積 1,500m² 仮設住宅 15戸（3連棟+集会所1棟）
仕様（2Kタイプ10.5坪）：居室5.4帖×2+キッチン+ユニットバス+トイレ
工期：平成23年6～7月（土地造成含む）使用木材:構造，内装材（南三陸及び登米産杉材）
ボランティア協力：秋田県立大学生（資材搬入，上棟）・慶應義塾大学生（仕上げ掃除など）